

て 広報 天龍

第 108 号

2005年9月8日

— 私たちの村 —
— 9月1日現在 —
人口 2,042 人
男 939 人 女 1,103 人
世帯数 941 世帯

発行 天龍村役場
編集 総務課
印刷 齋藤印刷所

みどりの少年団交流集会 in 大河内



みどりの少年団は、子供たちに森林についての学習や、ボランティア活動などを通して自然愛護の意識を高める目的で活動しており、現在、11市町村に14団体があり、約400人余の団員がそれぞれの地域で活発に活動しています。

その、みどりの少年団で年に1度行われる「飯伊地区みどりの少年団交流集会」が、大河内森林公園で14団、約360人の団員が参加して行われました。

当日は各団の活動発表や、森林に関するクイズを解くクイズラリーなどが行われ、他団との親睦が深められました。

議会だより 第3回臨時議会

平成17年第3回天龍村議会臨時会が7月13日に開かれ、左記の議案について、原案とあり可決されました。

「可決された案件」

- 特別報酬等審議会条例の一部改正
- 常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

- 常勤の特別職の給与の特例に関する条例の一部改正
- 天龍村和知野川緑地等利用施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正
- 天龍村大河内森林公園の設置及び管理運営に関する条例の一部改正
- 天龍村二センジ自然公園の設置及び管理運営に関する

天龍村農業委員会改選結果 〈会長に宮澤昭男氏を再任〉

7月19日で任期満了となる農業委員会委員の改選が行われました。

これからの3年間、天龍村の農業振興の推進役を担います。

今回の改選では、昨年11月の農業委員会法改正を受けて、今までの選挙による委員定数10名を7名に減少する中で行われ、一般選挙6名と、農協推薦1名、議会推薦4名の計11名の新しい委員が選任されました。また、7月20日に開催された農業委員会総会において、会長に宮澤昭男氏、会長職務代理に宮澤寛樹氏を全会一致で選出しました。

〈農業委員（敬称略）〉	
秦 照美(岡本)	議会推薦 初
熊谷洋子(十久保)	議会推薦 初
橋場公宣(鸛巣)	公選 8期
遠山全洋(清水)	公選 3期
宮澤 悟(西原)	公選 3期
熊谷 明(余野)	公選 2期
田村正統(大河内)	公選 10期
大平邦芳(中井侍)	議会推薦 初
金田 正(松島)	公選 初
宮澤寛樹(中央)	議会推薦 2期
宮澤昭男(東原A)	農協推薦 3期

**9月11日は
衆議院議員総選挙
の投票日です。**

～これからの国政を決める大切な選挙です。
みなさんの大切な一票を投じましょう～

条例の一部改正
内容は、それぞれ天龍村収入役を設置しない条例の制定に伴う条文の整備です。

○天龍村農業委員会委員の推薦について
農業委員会委員の改選に伴い、次の4名の方が議会推薦されました。
(敬称略)

- 秦 照美(岡本)
- 熊谷 洋子(十久保)
- 大平 邦芳(中井侍)
- 宮澤 寛樹(中央)

天竜川の河川清掃を 実施しました

毎年7月の河川愛護月間に合わせ、7月21日に国土交通省と天龍村の合同による天竜川の河川清掃を実施しました。

当日は猛暑の中、総勢26名の職員により、始めに平岡橋の上流の松島側河川敷のゴミ拾いを行い、軽トラック一杯分のゴミを回収しました。昨年に引き続き、ゴミの大半は空き缶やペットボトルといった資源ゴミで、まだまだリサイクルに対する意識の甘さが感じられました。



▲アレチウリの駆除



▶軽トラック一杯のゴミ

引き続き、鸛巣天竜川橋下流部左岸側のゴミ拾いとアレチウリの駆除を行いました。こちらでも軽トラック一杯分のゴミを回収し、そのほとんどが建設資材でした。また、アレチウリは昨年も駆除作業を実施したので少なくなっていました。また、まだ繁殖が続いているため、駆除が必要な状況にあります。

村民のみなさんにおかれましては、ゴミの減少とアレチウリの駆除について、ぜひご協力をお願いします。

地区懇談会を開催しました

村では、7月11日の鶯巣梅の里ふれあい館（写真①）をはじめ、村内8ヶ所で地区懇談会を開催しました。地区懇談会には、多くの住民のみなさんにご出席いただき、村政全般に関して活発に、また様々な意見交換をさせていただくことができました。各会場で寄せられた多くのご意見やご要望の中から、その一部をご紹介します。

なお、各会場での懇談全体の要旨については、むらづくり推進室へお問い合わせ下さい。

- Q**…小さな村が自立していくためには、行政改革を進めてほしい。今後、住民の負担も出てくると思うが、高齢化率50%近くの村なので、あまり村民の負担が多くなると困る。そうならないように行政改革に是非努力してほしい（中井侍集会所）。
- A**…村では、職員の給与カット、龍泉閣と農林業公社の経営改善、各種経費節減など行財政改革の取り組みを進めている。今後も、村民と役場との「協働」を進めながら、交付税が平成19年度以降どうなるかも踏まえつつ、頑張っていきたい。
- Q**…同報無線について、音楽が大きな音で、定時放送では小さな音で聞きづらい。特に朝の音楽はボリュームが高い。また、最後の「ぎゅ、ぎゅ」という音は大夫慣れてきたが早めに調整してほしい（老人福祉センター 他）。
- A**…県で発注している工事だが、最後に村で受け取るので、業者に対して、音量の調整を適切にするよう話している。「ぎゅ、ぎゅ」という音は、デジタル放送対応の施設を今アナログで放送しているためどうしても出てしまう。前の施設では放送の最後に「ぷー」と鳴った。解消は出来ないので、ご理解を頂きたい。
- Q**…CATV回線を活用してインターネットの使用を望む声があるが、進捗状況を知りたい（鶯巣梅の里ふれあい館 他）。
- A**…今、南部地区の町村で組織するケーブルテレビの高度利用化研究会で、CATV回線を利用したインターネット網の共有化について研究している。南部町村が共同化することにより町村や利用者の経費を安くできるような研究しているが、各町村の整備状況も異なること等あり、もう少し時間を頂きたい。
- Q**…下條村では中学校卒業までの子供の医療費を無料化している。財政逼迫の折大変厳しところだが、天龍村では少子高齢化についてどう考えるか（戸口集会所）。
- A**…村では現在、小学校就学前までの乳幼児の医療費をレセプト1件につき300円までの受益者負担金を除き無料化しているが、この年齢をどうするかについては、若者定住促進の色々な施策と併せて検討していきたい。
- Q**…原地区には大きい公共物があるので、村道原清水線の改良を優先して進めて欲しい（原集会所、コミュニティーセンター）。
- A**…村では10本近い村道の整備を同時進行という形で進めております。



うぐす梅の里ふれあい館にて

Q…向方学区等から新野の小学校へ通学したい。なんとか方法はないか。県へは相談してみたか（向方老人憩いの家、大河内多目的集会所）。

A…現在の法律では、住所地の学校へ就学することになっておりますので、天龍村に住所がある子供は天龍村の小学校へ通学することになります。ただ、特例として区域外通学も認められてはおりますが、いくつかの手続き等が必要で簡単にはいきません。県にも相談してみましたが、区域外通学はあくまでも市町村の問題であるため、市町村の段階で解決してほしいとのことでした。

村教育委員会としては、是非天龍小学校へ通っていただけるよう通学方法など最前の努力をしたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

天龍未来づくり委員会 第5回 活動報告

【取り組みの内容】

○第18回会議（平成17年7月1日開催）

「天龍村むらづくり計画」重点事項「芸能文化」と「定住促進」について、意見交換をしました。祭り、伝統芸能について協議し、定住促進については、村からの人口流出の原因、雇用の問題、社会資本の整備等について協議が行われました。

○第19回会議（平成17年7月8日開催）と、観光関係項目について村、観光協会への提案の実施

第19回会議では、第18回会議に引き続き、「定住促進」に関して活発に意見交換をしました。会議では、情報発信の重要性、小児医療費の無料化、受け入れ態勢の重要性、目的を明確にした施策の必要性等について話し合われました。

また、「天龍村むらづくり計画」重点事項「観光」についての第16回及び第17回会議の協議結果を受けて、(1)体験型観光の推進、(2)村、観光協会、村民が一体となった観光の推進を内容とする村への提案をまとめました（別紙1）。また同じ趣旨で村観光協会あての提案をまとめました。

7月14日、関口達也委員と熊谷清治委員が大平村長に対する提案を、同27日には宮澤直祐委員長、関口達也委員、熊谷清治委員が天龍村観光協会の仲乙弘会長、上野伊佐雄副会長、宮澤金治副会長に対する提案を、それぞれ行いました。（写真①）



写真①

○第20回会議（平成17年8月5日開催）

教育委員会の板倉教育長以下3名に出席いただき、「天龍村むらづくり計画」重点事項の「教育」について、現状のお話を教育委員会からお聞きするとともに、意見交換を行いました。小中学校の存続、広域による学校運営のあり方、特色ある学校づくり、公民館活動の活性化等について協議が行われました。（写真②）



写真②

(別紙1)

平成17年 7 月14日

天 龍 村 長 大 平 巖 様

天龍未来づくり委員会
委員長 宮 沢 直 祐

「天龍村むらづくり計画」重点事項『観光』関係について（報告）

当委員会の取り組みにつきましては、日頃から格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、「天龍村むらづくり計画」重点事項『観光』関係について、委員会で検討協議の結果、村施策に係る提案を下記のとおり取りまとめましたので、実現に向けた取り組みについてご検討のうえお取り計らいをお願いします。

記

〈重点事項「観光」〉

1. 体験型観光等の推進について

天龍村は美しく豊かな自然に恵まれています。村内には、天竜川と峡谷が織りなす素晴らしい景観、熊伏山、滝などの多様な自然や、お茶、柚餅子などの特産品、都会の人を惹きつける無人駅、温泉施設、宿泊施設など、多くの資源があります。

こうした地域の資源を有効に活用した観光を進めるために、村の魅力と価値を高めるブランド戦略に基づいて、各種農業体験・山村体験・自然体験など「体験型観光」の推進と、魅力的な観光ルートの整備を、村、観光協会、村民が積極的に協力し合って進めることを提言します。

また、天龍村の資源を生かした観光を推進するためには、自然の素晴らしさや村の魅力を伝えるガイド・インストラクターの養成、村を訪れるお客様が「参加」できる観光、静けさや癒しをコンセプトとする観光、飯田下伊那地域での広域的に連携した観光の実現についても、併せて提言します。

2. 村、観光協会、村民が一体となった観光の推進について

天龍村の資源である自然等を生かした観光を進めるためには、村、観光協会、村民が一体となって、地域の資源を有効に活用した体験型観光等の研究と実践を推進することが必要です。

そのため、各種農業体験・山村体験・自然体験など「体験型観光」の推進と、魅力的な観光ルートの整備について、村、観光協会、村民が一体となって、様々な視点から更に広い視野での検討を進めることを提案します。

「あなたの提言ボックス」によせられた声 No.4

(平成17年 7 月15日 開箱分)

設置場所	提言の概要及び提案者	回答・対応等
おきよめの湯	心の癒し、リフレッシュに何よりの温泉である。注文することは、道路が狭い、落石が不安。湯の中での備品（特にクシ）が揃っていない。又足を擦る道具をもう少し設置して下されば。6/16に初めて体中が入れ墨の方を見ました。別に苦にしない人は良いがどうかと思います。旅館ホテル等には張り紙がありますがおきよめは如何でしょうか。恐ろしい感じがしました。〈県外者〉	いつもご利用ありがとうございます。 道路の拡幅、落石防止につきましては、国道418号の管轄であります国・県等上部機関に毎年、村単独及び国道418号整備促進期成同盟会で道路改良についての陳情を行っております。 足を擦る道具につきましてはもう少し設置をさせていただきますが、クシにつきましては衛生上の問題がありますので検討させていただきます。 入れ墨の件につきましては、館内に掲示をさせていただきます。
	湯が綺麗、日本一です。今後も時々来湯したい。〈県外者〉	ご利用ありがとうございます。今後もご愛好の程よろしくお願ひし、ご来館をお待ちしています。
なんでも館	「愛・地球博」のアニメ、となりのトトロの中の「サツキとメイの家」の博覧会終了後天龍村への移築に手を挙げて見ては如何か。（村に必ず人が来る）〈村民〉	発想としては良いと思いますが、移築には相当の費用が必要となりますので、村では手を挙げる事は出来ません。なお、インターネットの報道での確認ですが、万博閉幕後も現地保存する方針が明らかになったようです。

8月10日から12日までの3日間、天龍小学校五年生が「天龍村ドラゴンのまち交流派遣団」(板倉恒夫天龍村教育長を団長とした総勢17名)として鹿児島県龍郷町を訪問してきました。

この「天龍村ドラゴンのまち交流派遣事業」は、平成10年度からほぼ毎年実施し、今年度で6市町目の訪問となります。

今回訪問した町は、鹿児島県奄美大島の北東部に位置する龍郷町でした。「龍」のつく市町村の中では最南端にある町で、東シナ海と太平洋に面し、自然豊かであつ、大島紬に代表される歴史と伝統文化を大切に継承している町です。加えて、気候と同じ人情のとても暖かい町でした。

派遣団は、小学校五年生12名と引率の先生等5名の総勢17名で、約9時間かけて奄美大島空港に



全員一緒に記念写真

二日目は、まず、龍郷町の北部にある奄美自然観察の森を散策しました。天龍村では見ることのできない珍しい鳥や蝶、草花を観察しました。その後、大島紬の泥染め体験をし、それぞれ思い思いに世界でたった一枚のTシャツを染め込みました。

龍郷町へ到着すると、教育長さん始め、教育委員さん、町の職員の皆さんやホームステイを引き受けてくれたご家庭の皆さんが迎えてくれ、受け入れ式と対面式が行われました。子供達は皆、緊張の面持ちでしたが、早速各ステイ先に別れ、初日を終わら



ホームステイ先との対面式

到着しました。空港では、今回交流する龍郷町の子供達が大勢出迎えてくれ、龍郷町までの移動のバスの中では、早速交流が始まりました。



初めて体験したシーカヤック

奄美大島の夏を満喫
ドラゴンのまち 交流・龍郷町



泥染め体験でTシャツを作りました



安木屋場海岸の夕日はきれいでした

つづいて、赤徳海岸で遊泳とシーカヤックを体験しました。学校のすぐ横が海という場所のため、学校にはプールがないそうです。海に初めて入る子供もおり、シーカヤック体験も含め、子供達は皆、大興奮でした。そして、夕方からは交流会・懇親会・ふるさと紹介・円文化財少年団とのふれあいが行われました。場所は安木屋場海岸で、龍郷町の中でも夕日が一番きれいにみえる所だそうです。この日は、天気も良く、青い海に真っ赤な光がのびた最高に美しい夕日を見ることができました。加えて、ふるさと紹介のあと、行われた円文化財少年団とのふれあいの時間では、八月踊りを披露してもらい、最後は全員で踊って楽しいひとときを過ごしました。

三日目は、午前中ホームステイ家庭とそれぞれ過ごし、正午に中央公民館でお別れ式を行いました。

子供たちからは「海がきれいだった。」「遊泳とシーカヤックがおもしろかった。」「マンゴーやゴーヤなど食べるものがおいしかった。」「奄美自然観察の森がよかった。」「友達がたくさんできてよかった。」「ホームステイは緊張したけどお家の方が優しくしてくれてうれしかった。」「などいろんな感想が聞かれました。三日間という短い期間でしたが、参加した子供全員が貴重な体験をできました。龍郷町にできた多くの友達と未永い交流がつづくことを期待します。」



8月踊りでは地元の人達と一緒に踊りました

8月8日～11日 英国高校生を地域で大歓迎

8月8日から11日までイギリス・オックスフォードのチェイニー高校生24名が大人9名の引率者と共に伊那谷を訪れました。

戦後60年を記念してロンドンの帝国戦争博物館の主催した二週間に渡るタイ・日本への研修旅行の一環でした。この一行を迎えたことは、天龍村及び近隣市町村の人々にとって、かけがえない貴重な経験となりました。



「Hello, host brother」

まず、一行のホームステイ先となってくださった天龍村のご家庭からは、「とても楽しかった」「世界は広いということがわかった」「お金では買えない経験をさせてもら

った」といった喜びの声が聞かれました。チェイニー校生にとっても、山村の生活様式や家庭料理に触れるまたとない機会となりました。また、

地元の中・高生からも、「めちゃ楽しかった」「もつと話したいから英語をがんばる」「早くイギリスへ行きたい」と意欲をかきたてるチャンスとなったようです。



生花で交流

8月8日に平岡駅に着いたチェイニー一行は、天龍小学校六年生による太鼓の演奏で迎えられました。そして歓迎のために集まった村の子供達や村内外の高校生達とんでも館で歓談し、村の有志の提

供してくださった着物のお土産に歓声を上げていました。

8月9日は一日中天龍村内で過ごしました。午前中は、平和のための戦争学習の時間でした。岡山県倉敷市にお住まいの元陸軍通訳永瀬隆さんの講演の後、喬木村の教諭で「平岡ダムを歴史を残す会」会長原英章先生の案内で平岡ダムとその向かいにある中国人労働者慰霊碑及び中学校グランド連合軍捕虜慰霊碑を見学しました。その後、村にお住まいで満島収容所や捕虜の様子を憶えていらっしゃる方々をお招きして、昼食を共にしました。



Friendship

午後は、満島神社掛け太鼓の演奏を皮切りに、伊那谷文化博覧会をしました。チェイニー校生は、水引、書道、弓道、空手、お茶、お花、草笛太鼓、大道芸などを体験しました。風越高校の皆さんや村内外の有志の皆さんが周到に

準備をしておいて下さり、そのご指導の下、伊那谷に息づく文化を和気合い合いと楽しむことができました。最後に全員で「ロックソーラン節」を踊り、それぞれのホームステイ先へと帰っていきました。



8月9日長崎にも思いをはせて

8月10日の朝には、ホストファミリーに別れを告げて高森町民研修センターへと向かいました。天龍村からも中高生六名が参加しました。ここでは、「みんなのフォーラム」という平和のための学習や活動をする市民グループが中心となって、チェイニー一行を歓迎してくれました。東京からのボランティア大学生が天龍村から切り出してくれた竹を使った流しそうめんの昼食の後は、隣政寺での座禅体験、浴衣やじんべいを着て

の記念撮影、地元の子供達と一緒に運動会を楽しみました。屋台風バイキング形式の夕食の後は、キャンプファイヤーを囲んでのタレントショーやフォークダンス、ディスコダンスで盛り上がりました。

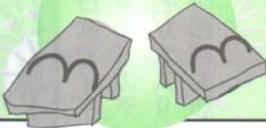
地元の中・高生も、この交流をとても楽しみ、それぞれに大きな収穫を得てくれたことでしょう。未来を担う子供達が、今後もこうした機会に多く触れ、視野を広げること人間としての幅を広げていけるよう、大人達はその機会作りに励んでいきたいものです。そのためにも、今回のように村内の人々と連携した広域的なサポート体制が必要なることを感じます。多くの人が快く時間や労力を提供してくれたことで、今回の歓迎活動は大成功でした。この訪問がまいてくれた種を、大切に育てていきたいと思います。



「ドッコイショ、ドッコイショ」

2005 ふるさと夏まつり

盛大に開催


まおは五平餅

本年も、8月15日(月)に第20回目の「ふるさと夏まつり」が開催されました。晴天にも恵まれ、大勢のみなさんにご参加いただき、盛大に開催することができました。

夏まつりの内容は、700本のうちわの配布を行った後に、お楽しみ抽選会・越天楽コンサート・盆踊り・花火・夜店で、特に花火は、真夏の夜空を美しく飾っていました。

ご協力をいただきました役員のみなさんに厚くお礼申し上げます。



越天楽コンサート



特賞おめでとうございまお(お楽しみ抽選会)

第3回 天龍村大運動会

とき 9月18日(日)

〈雨天: 9月19日(月・敬老の日)〉

ところ 天龍小学校

～保育所、小・中学校、
公民館の合同により
開催します。～



大漁? 金魚あくい

平成17年 4月より

結核予防法が変わりました

昭和のはじめの日本は貧しく栄養が十分取れず、生活環境も粗悪なものでした。このような状況の下、国民30人に1人が結核の発病をしており、結核は「国民病」として人々の生活を脅かしていました。

しかしその後、治療薬の開発・BCG接種・健康診断などが整備され、現在では結核感染者及び結核死亡者が激減しました。

このため、国では平成17年4月より結核検診（胸部レントゲン撮影）の対象者を従来の18歳以上から65歳以上へと変更しました。65歳以上の方は、結核流行当時、若く免疫力もあり結核に感染しても発病しなかった人も、年齢とともに少ずつ抵抗力が衰え、眠っていた結核菌が活動を始め、結核を発病する可能性があるためです。

この国の方針に従い、村でも毎年実施しています結核検診（胸部レントゲン撮影）の対象者年齢を65才以上の方へと変更して行っています。

みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

お問合せ先：住民課生活環境係

和知野川フェスティバル開催!

7月31日(日)に和知野川キャンプ場において、天龍村観光協会主催による「和知野川フェスティバル」が開催されました。



当日は、村内外から多くの来場者があり、魚のつかみ取り、しゃもの喧嘩ショー、五平餅・焼き鳥などの出店で、初夏の和知野川キャンプ場が大いに盛り上がりました。

”あけび狩り”今年も実施

あけび狩り体験を今年も左記により開催します。

○主催 天龍農林業公社

○期間 9月17日(土)

10月2日(日)

○入園時間 午前10時～

午後3時

○入園料 1,000円

(小学生未満無料)

※あけび1kg、あけびの天ぷら



ら等の試食代含む
○販売料金 1kg 500円
※入園料に含まれる1kgを超えた分
○お問合せ先
役場産業建設課商工観光係

地震総合防災訓練開催される

9月1日(日)に地震総合防災訓練が開催され、近い将来発生が危惧される東海地震を想定し、消火訓練・救護訓練が村内各地区の避難地で行われました。

当日は、多くの村民・消防団・日赤奉仕団のみなさんに参加いただき、実のある訓練ができたと思います。

防災は、日頃の心がけが大切です。この防災訓練を機に、今一度防災意識の高揚を図ってください。

最後に、訓練に参加いただいたみなさん、大変おつかれさまでした。

この秋一番おもしろい! オータムジャンボ宝くじ

※※1等前後賞合わせて2億円!※※

発売期間: 9月26日(月)~10月11日(火)

抽せん日: 10月14日(金)

☆この宝くじの収益金は、市町村の明るい街づくりや環境・高齢者対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

道路愛護功労者表彰

去る8月6日にJR飯田駅の特設会場において、道路愛護功労者表彰式が行われ、飯田建設事務所表彰として、中組地区の村松昭三さん・千美子さんご夫妻に授与されました。

道路愛護功労者表彰は、毎年8月に開催される「道の日」事業の席上で行われているも

ので、国道道の環境整備や沿道美化などに功績のあった方々に感謝状が授与されます。

村松さんご夫妻は、長年にわたり国道418号の清掃や花壇の手入れなどを、ほぼ毎日実施していただいております。その功績が高く評価されました。

村松さんご夫妻のご努力に對し感謝申し上げます。今後とも活躍されますことをお祈りいたします。

村鳥ブッポウソウの写真を展示中

ブッポウソウは、天龍小児童が中心となって保護活動が行われており、今年も5月初頭から村に飛来しました。

このブッポウソウは平成11年に村鳥に制定されましたが、なかなか近くで目にする事ができないため、南上区・羽

田野頼一さんと伊那北高校の三石友規先生にご協力いただき、撮影された写真を役場正面玄関にて展示しています。独特でお世辞にも美声とは言えない鳴き声とは裏腹に、光沢のある鮮やかな青緑色の羽をぜひご覧ください。



なお、今年役場の屋上で繁殖していたブッポウソウ一家も、無事ヒナたちが巣立ち終えました。



飯伊消防技術大会

天龍村消防団大健闘!

飯伊消防技術大会が、7月10日(日)に高森中学校を主会場に開催され、天龍村消防団は小型ポンプ操法の部に出場しました。

今年、第1分団と第2分団の選抜チームでの出場となり、5月中旬から仕事の後、夜遅くまで練習を重ねてきました。

当日は、前日までの雨でグランドコンディションも悪く、また猛暑の中での競技となりましたが、日頃の練習の成果を十分に発揮し、25チーム中18位と大健闘しました。

選手及び関係者のみなさん、大変おつかれさまでした。

この成果を今後の消防団活動に活かしていただきたいと思います。



「もう少し病院が近くにあれば」「もう少し交通の便が良ければ」「もう少し公園が多ければ」... 私たちの暮らしの中で、「もう少し」があればいいなと思うことってありますね。

そんな、あなたの「もう少し」のために。

国勢調査は、人口・世帯などを知るための最も基本的な統計調査。国の施策やまちづくりのための大切なデータになります。

あなたの調査票が 国の施策やまちづくりのデータに

9月下旬から 国勢調査員がおうかがいます。

2005 国勢調査

平成17年10月1日(土)

総務省統計局